



自衛隊群馬地方協力本部

JAPAN SELF DEFENSE FORCE GUNMA PROVINCIAL COOPERATION OFFICE

夢に翔け（群馬地本高崎所）

黒岩 秀樹（入隊予定者父）



左から：母、息子・凌磨さん、父・秀樹さん

令和元年も秋になった頃、私は、高校2年生の三男である凌磨の将来の進路について、本人がどのように考えているのか気になっていたこともあり、話をする機会を設けました。

「進路、どうするんだ？」と凌磨に聞いてみると「やっぱり昔から言っていた自衛隊の隊員になりたい。」と返事が返ってきました。

きっかけは、子供の頃から習っている空手道場の先輩です。その先輩は地元の自衛隊員の方で黒帯でした。本人にとっては憧れの先輩で、小さかった頃、道場から帰ってくる先輩からの「凌磨も頑張って稽古して強くなって自衛隊来いよ！待ってるぞ！」と言われたことを嬉しそうに話していました。私も「そうか！じゃあ頑張れよ」とその時は、子供の夢程度にしか思っていませんでした。しかし、本人の心の中では、今現在まで暖めてきた想いだという事を初めて知りました。

男三人兄弟の末っ子で甘えん坊だった凌磨が「本気で頑張りたい、人に言われた事でなく自分で選んだ道を進みたい」と自己主張された時は親として寂しい様な大人になって嬉しい様な複雑な気持ちでした。

そんな中、群馬地本の方々にたくさんのフォローやアドバイスをして頂き、無事入隊できることになりました。（令和三年春自衛官候補生として入隊予定）

今この世の中の状況は決して良い状況ではないにも関わらず、本人が自分で考え決めた決断に否定する理由もありません。私も自営業（ヘアサロン）を営んでおりますが、今の世の中で自分だけでなく人の為に尽くして喜んでもらえる仕事に就けるチャンスは中々ないですし、辛いことなんてどの様な仕事でもあると思います。自分の選んだ道で自分なりに精一杯頑張る、これからの道を過ぎて欲しいと願っています。がんばれ！我が息子凌磨！

ガールズトーク（WAF・WAVE編）



限られた短い時間の中で、参加者の不安解消に積極的に対応してくれた伊藤空士長、佐藤海士長、大原一等海士の3名の協力が心から感謝している。

群馬地本では女性活躍推進のため引き続きガールズトーク等を開催し、募集広報を展開していく。



自衛隊群馬地方協力本部高崎地域事務所（所長 土屋3尉）は12月27日、同事務所（高崎市あら町）においてガールズトークを開催した。

群馬県には陸上自衛隊しかなく、自衛隊への就職希望者が海上・航空の女性自衛官と交流する機会がない為、海上・航空自衛隊の佐藤海士長（館山基地）大原一等海士（掃海母艦うらが）伊藤空士長（横田基地）協力のもと女性自衛官3名を招いて企画した。

当日は、入隊予定者3名の他、ホームページやチラシで情報を得た方を含め9名が参加した。

初めは女性自衛官の制服姿に緊張した様子の参加者であったが、紅茶やチョコレートを食べながらリラックスしてもらうことで、時折笑い声も聞こえ和やかに進んだ。

まずは自己紹介や仕事のやりがいなどを全般説明した後、面談では入隊予定者とこれから受験を検討しているグループに分かれ、個別面談を実施した。

入隊予定者からは「入隊までの期間は何をすればよいか？」「自分は文化で体力がないが大丈夫か？」等の相談に対して自らの経験を語るなどして不安解消をし、受験を検討しているグループからは「陸上のイメージしかないのでは海空は何をしているか詳しく教えてほしい」等の質問があった。